

評価のポイント

CL-3.専門性の開発能力

[62-3] Pros & Cons : ケアマネジメント

Pros & Consを実際に行う。

○Pros & Consの方法

1. 日常のケア等でPros & Consになりそうなテーマを見つける。テーマの定義を決める。
2. Pros側とCons側にメンバーに分かれる（個人の好みは関係なくても良い）。
3. 自分の経験、権威のある人が言っていたアンケート、論文（ガイドライン）の各視点から情報を集める。
4. 情報整理してPros & Consそれぞれでプレゼンテーションする（各5分以内）。
5. 両主張のどちらが説得力に優れていたか、プレゼンテーションを聞いていた人の多数決で評価する。
6. 両主張の内容について、良かった点（感想など）を話し合う。

最初にPros & Consの課題全てを行えない施設もあるかと思う。その時は、課題の3つめの「情報を集める」の部分まででも、学習にはなるかと考える。その際は、情報を集めた内容を教育担当者や研修担当者が、論理的に考えられているかという点で評価し、フィードバックすることが大切である。可能であれば、良い評価を返したい。しかし、改善点がある場合は、ただ指摘するのではなく、「ここをこうするともっと良くなる」という言い方で、学習者の行動変容を支援することを推奨する。

1. 日常のケア等でPros & Consになりそうなテーマを見つける。テーマの定義を決める。

▶このテーマは意識しないと見つけることが、なかなか難しい。「日ごろは当たり前に行っているが、そういえばどうなんだろう？」と考えることがまずは第一段階である。日常のケアから考えて欲しいが、どうしても出ないときは、1つの例として以下の例を挙げる。

- ①全身清拭は毎日行う？行わない？
- ②検温は最低限の1日1回で良いのか？3回必要なのか？
- ③SpO₂は91%は医師へ報告する？しない？
- ④積極的に酸素投与をする？しない？

このほかにも、日常の1日の流れを思い浮かべ、妥当性を疑いながらテーマを決めて欲しい。

▶テーマの定義に関しては、テーマに幅がある場合や用語が曖昧な場合に設定する。より具体的に狭い意味の単語を選択する方が、結果的にPros & Consはやりやすくなる。

2. Pros側とCons側にメンバーに分かれる（個人の好みは関係なくても良い）。

▶自分の考え側に立つ方が、考え易い。しかし、論理的思考のトレーニング&相手の立場を慮る能力を考えると、自分と違う意見の方が学習になる。可能な限り、自分と異なる考えをもつようなメンバーに分けることができると良い。

3. 自分の経験、権威のある人が言っていた、アンケート、論文（ガイドライン）の各視点から情報を集める。

▶上記の順番で考えると、最初に弱い説得力を感じることができる。最初から論文などを紐解くと、Pros & Consに慣れていないときは考えが硬直化する恐れがあるため、まずは自分達の経験や考えから考える方がやりやすい。情報を集める際は、インターネットを存分に使用して欲しい。論文検索については、他のコンテンツの参照を推奨する。

4. 情報整理してPros & Consそれぞれでプレゼンテーションする（各5分以内）。

▶プレゼンテーションの方法はPowerPointなどプレゼンテーションソフトを使う事が一般的だが、作成に慣れていない看護師もいる。その際はPowerPointを使うことが目的ではないので、ペーパーの配布や、ホワイトボードの活用なども可能である。口頭だけでは互いの主張がわかりにくいので、メモのようなものでも良いので、要旨が書かれたものの準備を推奨する。同期型オンライン研修としても、同様のことは可能である。いずれの方法をとる場合も、結論→大まかな理由→詳細の説明→もう一度結論という順番でプレゼンテーションを指導してもらいたい。

5. 両主張のどちらが説得力に優れていたか、プレゼンテーションを聞いていた人の多数決で評価する。

▶ここでの多数決はプレゼンテーションを聞いていた聴衆や、教育担当者など第三者の評価になる。評価基準はあくまでも、論理的に説明され、主張に関して納得することができたか？という点を重要視していただきたい。そして、また、論文を活用したプレゼンテーションだったとしても、論文の内容が〇〇限定の場合や、明らかにまちがった解釈をしているということもあり、論文を使えば何でもOKということではないことも重要である。

6. 両主張の内容について、良かった点（感想など）を話し合う。

▶参加者の論理的思考に関して、良い評価をしていただきたい。しかし、良い事だけの評価にはならないときもある。明らかな改善点があるとすれば、「〇〇が出来ていない」という指摘ではなく、「ここをこうするともっと良くなる」という言い方をお願いしたい。

●学習者が個人の場合は以下のような学習を提案する。

詳細に関しては、上記のグループの学習内容を参考にしていきたい。

1. 日常のケアでPros & Consになりそうなテーマを見つける。テーマの定義を決める。

2. Pros & Cons 両方の視点で、自分の経験、権威のある人が言っていた、アンケート、論文（ガイドライン）の各視点から情報を集める。

▶個人でPros & Cons両方の情報を集める。

3. Pros & Consの各視点で情報整理して、可視化できるようにする（方法は問わない）。

▶用紙でまとめ、教育担当者や研修担当者に提出してもらう。評価は論理的にまとめられているかが、評価ポイントになる。